

☑ 知っておかなきゃ！  
研究公正のキホン

テーマ

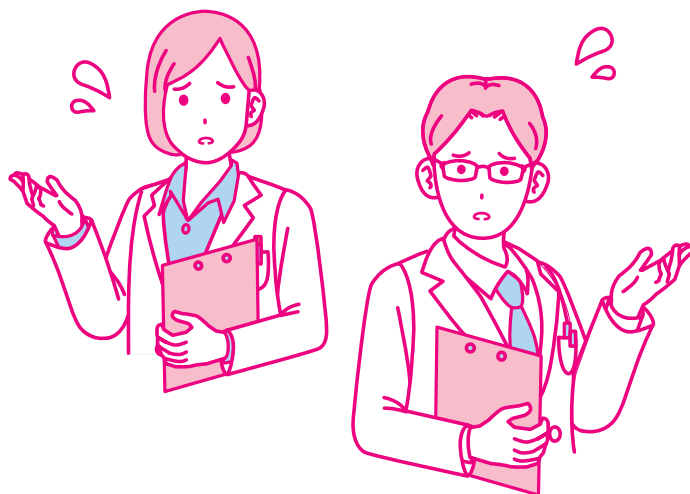
【共通】  
“著者貢献”  
3

# その論文、 あなたの役割は？

point

・実質的な貢献とは？

・著者貢献の14の分類



国際医学雑誌編集者委員会 (International Committee of Medical Journal Editors) は、論文の著者が満たすべき基準として4つの基準を挙げています※。その中核になるのが、「研究の構想・デザインやデータの取得・分析・解釈に実質的に寄与すること」(基準1)です。

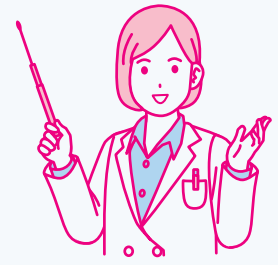
研究への実質的な貢献とは、具体的にどのようなことを指すのでしょうか。研究における具体的な役割について、正確で簡潔な記載の方法としてひろく利用されつつあるのが、CRediTという仕組みです。

※Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals (Update January 2024), ICMJE, <https://www.icmje.org/icmje-recommendations.pdf>

詳しくはウラ面へ→

## その論文、あなたの役割は？

【共通】“著者貢献”



## 1 研究への貢献を可視化する

国際医学雑誌編集者委員会 (International Committee of Medical Journal Editors) は、論文の著者が満たすべき基準として4つの基準を挙げています。その中核になるのが、「研究の構想・デザインやデータの取得・分析・解釈に実質的に寄与すること」(基準1)です。

研究への実質的な貢献とは、具体的にどのようなことをさすのでしょうか。近年では、特に共著者が複数の場合、だれがどのような形で研究に貢献したかについて、論文に明記しましょう。それぞれの著者の具体的な役割を明確に示すことは、研究の透明性を確保するうえでも重要です。研究における役割を示すツールとして、具体的で簡潔な記載法としてひろく利用されつつあるのが、CRediT (Contributor Roles Taxonomy) という分類法です。

## 2 CRediTによる著者の役割の分類

- 1— Conceptualization (研究の構想・立案)
- 2— Data Curation (データの整理・管理)
- 3— Formal Analysis (データの分析・解析)
- 4— Funding Acquisition (資金獲得)
- 5— Investigation (調査・実験の実施)
- 6— Methodology (方法論の設計)
- 7— Project Administration (プロジェクトの管理)
- 8— Resources (実験試料や分析機器等、研究リソースの提供)
- 9— Software (ソフトウェアの開発)
- 10— Supervision (研究統括)
- 11— Validation (結果の妥当性の検証)
- 12— Visualization (視覚化)
- 13— Writing – Original Draft (執筆：論文草稿の作成)
- 14— Writing – Review & Editing (執筆：論文草稿の校閲・編集)

【記載例】CReditに関する役割表記を太文字としている。

Pierro Asara: **review and editing (equal)**. Kerys Jones: **Conceptualization (lead); writing – original draft (lead); formal analysis (lead); writing – review and editing (equal)**. Elisha Roberto: **Software (lead); writing – review and editing (equal)**. Hebei Wang: **Methodology (lead); writing – review and editing (equal)**. Jinnie Wu: **Conceptualization (supporting); Writing – original draft (supporting); Writing – review and editing (equal)**.

【出典】“Open Access – CRediT (Contribution Roles Taxonomy),” Wiley Author Services.

<https://authorservices.wiley.com/author-resources/Journal-Authors/open-access/credit.html> (2024.2.1参照) より

## プロジェクト紹介

科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム (第3期:令和3~6年度)

研究分野の多様性を踏まえた  
研究公正規範の明確化と共有

近年問題となることの増えてきた二重投稿や不適切なオーサーシップ等について、問題への認識は分野を超えて共通しているものの、具体的にどのような行為を二重投稿や不適切なオーサーシップとみなすかについては、研究分野によって考え方や対応が異なることが少なくありません。本プロジェクトでは、研究分野の多様性を踏まえて、研究公正規範の明確化と共有を図る仕組みづくりを目指しています。



PLOS ONEなど、論文投稿時にCRediTを利用して具体的な貢献を示すことを求める学術誌も増えてきています。また、CRediTを採用していなくても、何らかの形でそれぞれの著者の具体的な貢献について明記することも求められるようになってきています。いずれにせよ、共同研究者のあいだの具体的な役割や貢献を明確にすることは、共同研究を円滑に進めるうえでも、「不適切なオーサーシップ」などの疑義を受けないためにも重要です。

